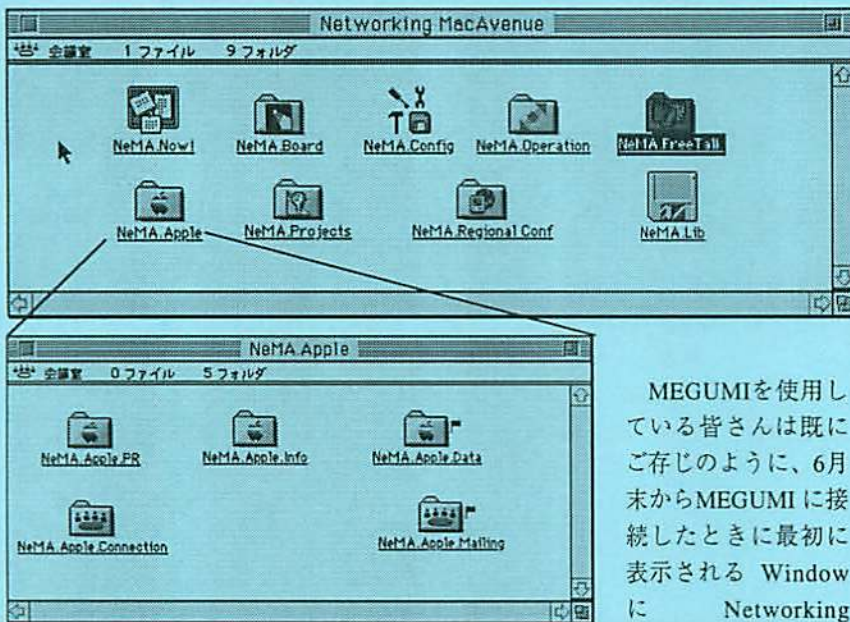


林檎

岩手Mac友の会

Vol.6, No.3 1994.8.20

Iwate Macintosh Funclub



Apple社が自宅に！

IMF の連絡の場として定着した MEGUMI が、6月末に Networking MacAvenue (以下 NeMA と略) と接続されました。NeMA は、Apple社と、UGならびにUG相互の情報交換と親睦を図ることを目的として、全国のUGが運営する FirstClass のホストを Network で接続したもので、Apple社がセンターホストの運営費を負担しているものです。

ちなみに、センターホストは川崎市のUG有志がヴォランティアで管理しています。

MEGUMIを使用している皆さんは既にご存じのように、6月末からMEGUMIに接続したときに最初に表示される Window に Networking MacAvenue というフォルダが突然現れてきました。そのフォルダを開くと図のような Window が表示されますね。その中の NeMA.Apple というフォルダを開くと、Apple社がユーザに公表するフォルダが現れます。(図の下側) ここにはアップル社のプレスリリースの内容が随時掲載されますので、新聞などでは割愛される情報も漏らさず正確に、しかもタイムリーに手に入れることができるようになりました。

今までUG代表者だけが使用できた MacAvenue でしたが、Network化にともない、その内容をUG会員全員が閲覧できるようになりました。全国の

UGの活動内容や、それぞれのイベントなどの情報も MEGUMI を通じて得られるようになりました。これだけ大規模な Network がUG自身の手で構築され、管理運営していることは画期的なことだと思います。

有料のパソコン通信サービスでも味わえない、ヴィジュアルな操作環境を存分に楽しみましょう。

恒例の MMM は、参加しやすいように日帰りで計画中です。内容が詰まり次第、改めて連絡致しますので、御期待下さい。事例発表者受付中です。MEGUMIにアップをお願いします。



Inside

2nd Mac は PB520	2
拳動不審な水蒸気	4
道	6
山の花	7
私の Mac Life	8
ブラジル紀行記(1)	10
エッセイ	12
林檎ギャラリー	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16



PowerBook

2nd MacはPB520



藤村 洋

最近PowerBook500シリーズは頼んでもなかなか来ないそうですが、6月17日にいち早くPB520を手にしたというだけでレポートを依頼されてしまいました私が独断で報告します。PowerBook500シリーズの仕様等については雑誌の紹介記事に任せることとし、ここでは私個人やIMFの方の意見等を中心にまとめます。

購入の背景

これまで持っていた機種はMacintoshSEでした。購入したのは1988年です。アットという間に6年が経っていました。昨年あたりからSEに替わるものがほしいと思い始めていました。

実は昨年の夏、LC520が発表になった時、一度、発注をかけたことがありました。しかし、たのんでもすぐ来なかったのが、手にするのが目前とわかっていながらキャンセルをした前科があります。たのんで1ヶ月以上も待たされるのはどうも面白くない気がしていました。製品が安定供給状態になっている時か、新製品をすぐ頼むという作戦にしなければとその時思ったものでした。

LC520をキャンセルしてからPB路線に気持ちが傾いてきました。場所をとらないこと、携帯性があること、カラーモニターへの接続が容易にできることを重視したからです。1994年3月、底値になったと判断して、PB180Cを購入しようとあちこちの販売店に電話をかけてみましたが、どこにも在庫無し。やっと決断して、たのもうとしたのにとガックリ。

じきにPowerPC Macの発表がありました。デスクトップ型は今回はパスしました。BlackBirdの噂は知っていましたが発売が何時になるかはっきりしませんでした。が、じっと待ち、次に発表になるPBの仕様と価格を見て決断しようと思い始めていました。

購入の経緯

- 5月17日 Apple社よりPB500シリーズ発表
- 5月18日 雑誌マックライフ6月号発売
PB500シリーズの詳細な説明記事がある。じっくり読む。
5時以降、「〇ック〇ャラリー」に電話して価格を教えてもらおうとするが、まだAppleのほうからいくら金額で入荷するかわからないので価格は決まっていないとの返事。念のため、同社のファクシミリ情報ボックスをチェックする。午後6時1分付けで価格表が発表になっている。検討する。
- 5月19日 昼休み、PB520 (12MB,160HD) をファクシミリで「〇ック〇ャラリー」に申し込む。
- 5月20日 昼休み、銀行より入金する
- 6月上旬 電話して発送時期を確認。「発売が6月15日になった。あなたは順番としては10番くらいだ。6月15日に台数が多く入荷すれば発送出来る」とのこと。6月15日が待ち遠しくなった。
- 6月17日 午前、宅急便で勤務先に届く。お昼休みに梱包を開ける。自分より先に今回目玉のトラックパッドを工藤君(Nifty-Navigatorの作者)に触られてしまった。(彼も一応遠慮して電源いれる前だったけれど...)

こうして、その日から僕のPB520ライフが始まった。

価格の推移

私が購入した構成のPB520 (12MB,160HD) について追跡します。

定価	PB520 (8MB,160HD)	318,000
	PB8MBメモリ拡張キット	70,000
	合計	388,000円

申し込み時 (5月19日) PB520 (12MB,160HD) 266,000円 (31%引き)

1ヶ月 (6月20日付けのファックス情報ボックスの価格表)

PB520 (12MB,160HD) 241,800円 (37%引き)

ただし、納期は1ヶ月という表示になっていました。

発注してから1ヶ月で2万円も値下がりするなんてショック。でも、その分早い時期から使えると思って自分を無理に納得させています。(時とともに値が下がるのはパソコンの常識とも思って諦めています)

以下はMEGUMI（岩手マッキントッシュ友の会運営パソコン通信ネットワーク）にアップされていた記事をもとにPB520所有者の私がコメント（ゴシック体部分）していききたいと思います。勝手に要約して引用します。勘弁してください。

□スピードについて

○期待していたほどは速いと感じませんでした。やはり、16bitバスが、ブレーキになっているのでしょうか。同じCPUのLC475よりはまちがいに遅いと思います。

MacintoshSE（CPU68000 8MHz）から乗り変えた私としてはとにかく早くて快適というのが感想です。スピードは相対的なものとして体感できるものだと思います。会社ではPB165C（CPU 68030 33MHz）とLC575（CPU 68LC040 33MHz）を使っていますが、PowerBook520（CPU 68LC040 25MHz）はPB165Cよりかなり早いと思いますし、LC575とはそれほど差が無いと感じています。

□トラックパッドについて

○何か変です。（^^;;今までだと、マウスにしろトラックボールにしろ、手の動き→マウスの動き→ポインタの動き、となっていたのが、手の動き→ポインタの動きとなり、奇妙な感じでした。

○PB非ユーザは「思ったより操作性が良い」とPB既ユーザは「すぐに慣れる」と。掃除の必要が無くて良い。

慣れれば問題無いです。むしろ、ボールのように出っ張っていないので指に負担がかからないようです。ただし、ほんとに微妙にポインタを動かしたいときは指の動きに対してポインタが付いてきてくれないときがあるのが

気になります。掃除の必要が無いというのも大きなメリットです。指でいつも掃除しているようなものです。

□キーボードについて

○JISキーボードを採用。英数とか、かなカナとかいうキーが増えた。従来の、コマンド-スペースやCapslock切り替えと重複するので意味がないような気がする。おかげで、大事なコマンドキーやタブキーがあんなに小さくなってしまって、とても使いにくそう。

○PowerBookは2台目以降として保有する人が多くそれぞれで配列が異なるのは本当に困るということです。特にホームポジションから、リターンキーを押すのが、キー一個分遠くなってミスタイプしてしまう。

○キータッチ自体は、Bookシリーズの中ではかなりいいと思います。

英数、かなカナキーは便利だと思います。今まで「コマンド+スペース」だったのが一発で済むのですから判りやすくいいですよ。

困ることは、「delete」が小さくなり位置が端に無くなったということです。今までは端にある「delete」目がけて指が伸びていました。しかしPB520では端に「パワーオン」があり、その下に「delete」が小さくなって存在するため、さらに狙いを定めなければなりません。その上、下には「return」があるので狙いをはずすと「delete」できず、「return」となります。たとえば、かな漢字変換中に修正したいのに確定されてしまいます。これにはいらいらさせられます。

「コマンド」が小さいのも困りものです。ショートカットで多用するわけですから。

□その他

○PowerBook5xxシリーズですが、超薄型FDドライブに問題がありそう

です。フロッピーを認識しない。フロッピーを吐き出せない。ピンで強制排出すると二度と使い物にならなくなり、病院送りとなる。など、など、苦情が殺到しているようです。

何ととっても、今はこれが問題です。使用を始めて1ヶ月、その現象が発生しています。シャットダウンしても吐き出されません。仕方がなくピンで出していますが、すんなりとイジェクトしてくれません。何とか、だましだまし吐き出させています。この原稿を書き終えたら病院送りにしたいと思っています。

PBのあるマックライフ

PB520を使い始めてから、私のマックライフがレベルアップしました。その環境についても最後に報告します。

本体 PB520 (12MB,160HD)
モニタ Apple13"
リムーバブルハードディスク SyQuest (105MB)
Faxモデム PRAGMATIC FAX MODEM 1414E

自分の部屋（2F）で13"モニタに接続して使っています。そして時には1Fのリビングに本体だけ持って来て家族と一緒の時間を過ごしながらパソコンのログを見たりしています。やはり、持ち運びが楽で、バッテリー駆動で、置場所をとらないというのは、何かと便利です。

そこそこ速くて自分の使い方にあつたマシンであれば、パワーPCでなくても、少しぐらいキーボードの配列が違ってても良しとしたいと思います。60万円近くのMacintoshSEを買った6年前、現在は高性能のマックが30万円程度で買える時代。いい時代だと思つづく思います。

今は、FDドライブの問題を除けば、PB520に十分満足しています。

拳動不信な水蒸気

長土居正弘

梅雨の季節も終わり暑い季節に成りましたが、じめじめの元、湿り空気・水蒸気のお話です。

湿り空気(水蒸気)は軽い

住宅など冬の暖房シーズンに結露・かびが起りやすいのは2Fの暖房の無い部屋の押入の奥・タンスの裏が定番です。

アボガドロの法則という気体に関する法則があります。

「0℃・1気圧(atm)で、22.4lの気体中には、気体の種類によらず 6.02×10^{23} 乗個の分子が含まれている。」

「モルの気体」

1molの水 = 18g

1molの乾燥空気=28g

となり、乾燥空気に少しでも水分が加わると軽くなり、水分が多いほど軽くなる計算です。だから水蒸気は軽いのです。したがって、水蒸気は建物の上部に上ります。押入のたんだフンは断熱材の役割をします。押入の奥の壁面温度は建物の中で最も外気温度に近く(室温より低く)なっています。暖房室の温度が23℃で60%の湿度だとすると、家の中の壁又はガラス面の表面温度が13℃以下になると結露が始まります。そんな事から非暖房室(13℃以下の室)を作らないと言うのは人間のためばかりではなく建物の健康のために重要です。

なぜ結露するのでしょ

う空気には水分を入れておけるポケットがあります。これは温度にによって大きさが変化する特徴があります。温度が上がると大きくなり、下がると小

さくなります。ムシ暑い夏ビール瓶の表面に水滴がつくのは、温度が高い空気が、冷えたビール瓶の表面で冷やされるとポケットが小さくなってしまいポケットから水分があふれ出し水滴に成ってしまうのです。風呂の中で見えない水蒸気が、外気に出ると白く見えるのも同じ現象です。

水蒸気は一種の圧力です

水蒸気分圧と言う言葉があります。圧力は高い方から低い方へかかる特徴があり、水蒸気圧には建物の壁を貫通するすごいパワーがあります。例えばコンクリート壁の塗料がぷっくりフクレている建物をみたことはありませんか？北天昌寺の某整形外科病院の外壁を注目して下さい。(図)

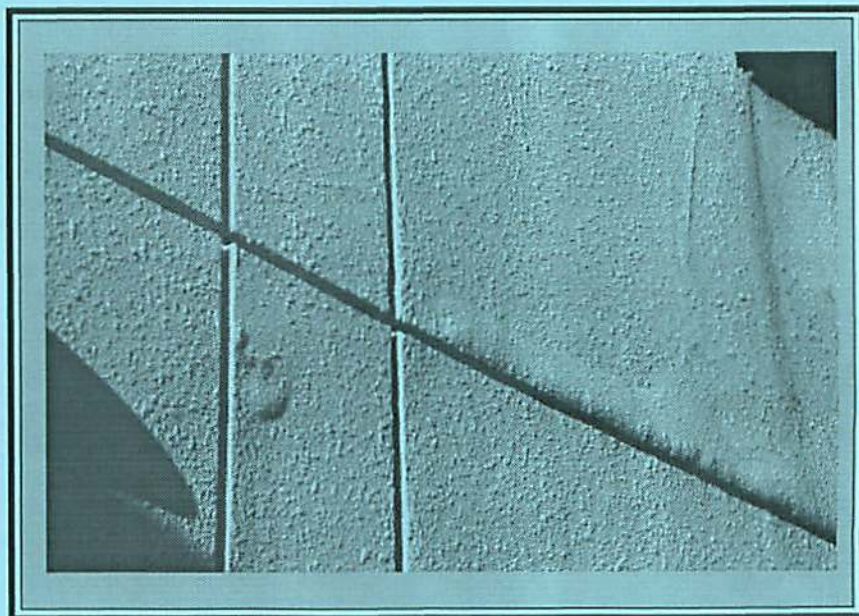
冬、室内温度が高く湿度も保たれていると、水蒸気分圧は室内が高く外気は低くなります。圧力は室内から外気側にかかります。コンクリート壁の透

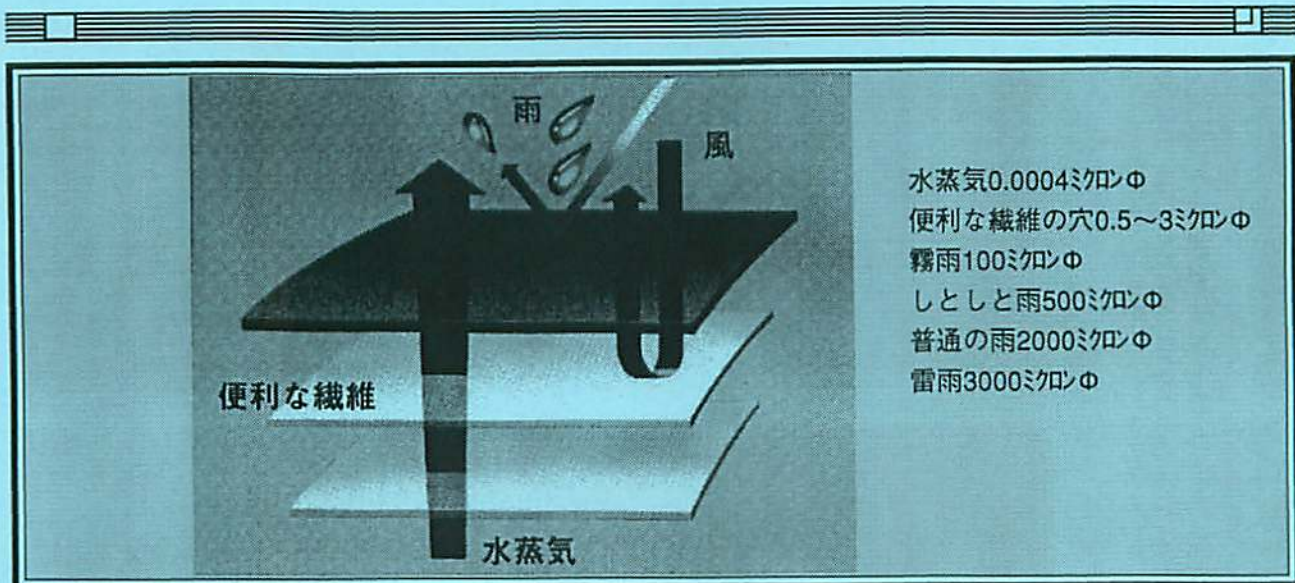
湿抵抗より表面仕上げ塗装の透湿抵抗が大きいとコンクリート壁を水蒸気が進み(透湿して)透湿抵抗の大きい塗料の幕で行き場を止められ水蒸気は冬の外気温度のため結露して水分に変わります。その水分がコンクリートと塗装の間に水としてたまるという症状です。

家が腐る

(やっとな建て家が3年で腐る)

日経新聞'94.6.18 夕刊に、家が腐る。犯人は水蒸気、快適断熱材に落とし穴、施工を誤ると結露しやすく、防湿・気密が肝心と掲載されておりました。これは建築の病気です。この病気はコンクリート建築だけの病気ではありません。木造建築でもおおいに起こります。壁の中で起こるこの病気は建物の寿命を縮め財産価値を無くしてしまいます。





東北岩手でもこの病気が現在でもはやっております。潜伏期間は3年、5年、7年です。野村会長のご自宅は大丈夫でしょうか。マックも高額商品ですがもっと高額なのが住宅です。住宅の水蒸気圧をコントロール出来ないとビール瓶の表面で起きていることが壁の中で起こります。そしてこの病気に罹ってしまうのです。おーコワ！

水蒸気圧は現在の技術ではほぼコントロールは出来るように成りました。しかし問題はこれを理解している専門家は非常に少ないと言うことです。建築設計者、建築業者、工務店、大工の専門家集団でも理解している人は10%位程度です。林檎の読者が建物を建てる時はご注意ください！

水蒸気は粒が小さい

水蒸気(湿流)を止めるのは「水を漏らさぬ」より大変難しいのです。なぜなら水蒸気の粒は10万分の4ミリです、最近とても便利な繊維があります。水蒸気を透過してくれて水をはじく、これは水と水蒸気の粒は大きさが違うことを利用している訳です。そんな粒の水蒸気を壁のなかに入れれないと言うことはたいへんな技術です。木造住宅では「ハーフ・ハーフ」と称するポリフィルムを室内側に細心の注意を払って張ります。もちろん釘穴にも注意を払わなければいけません・・・これ以上は専門的になりますね。

蒸発潜熱(水分が蒸発するときに熱を奪う)を利用する

夏涼しい住宅というと、茅ぶき屋根の民家をイメージします。茅の厚みは90センチ程度で断熱効果に優れ、又梅雨の時期に水分をたっぷり含み、夏の太陽熱で加熱された屋根面から水蒸気を出して体温調節をしているのです。汗出しながら体温調節をしている動物と同じです。トタン屋根の住宅にはこの調節機能がないので夏は暑いのです。エコロジー住宅では蒸発潜熱を利用して屋根に芝生を植える等もすすめられています。庭に水を打って涼を呼ぶのも同じ理屈です。家の周りをアスファルトにしないで芝生にするのも涼しい夏を作る秘訣です。芝生、植木は強い日射で水分を蒸発させます。蒸発潜熱のうまい利用法です。昔の人は知恵があったのですね！

風呂とかび

風呂タイルのかび取りがTVコマースャルになっています。風呂場のタイル目地にカビは常識なのでしょうか。

冬の風呂場のタイル面の表面温度は冷たいビール瓶と同じ温度まで下がっています。水蒸気を出すと表面温度が低いのでタイル表面で結露します。それがかびの原因です。

防ぐ方法は・・・

水蒸気0.0004ミクロンΦ
 便利な繊維の穴0.5～3ミクロンΦ
 霧雨100ミクロンΦ
 しとしと雨500ミクロンΦ
 普通の雨2000ミクロンΦ
 雷雨3000ミクロンΦ

1度水になったものを再蒸発させるにはエネルギーが必要です。冷え切った風呂には再蒸発のエネルギーがありませんのでいつもジメジメかびだらけとなります。水蒸気を蒸気のまま含んだ空気は、窓をあけてやるとスーと逃げてくれます。浴室が冷えきらないうちに窓をあけましょう。

断熱を徹底することでタイル表面はぬるいビール瓶の温度になり結露しなくなります。夏は風呂のタイル面も温度が高いので結露は見られないはずです。

表面で結露、内部結露とこわいことも多いわけですが、きれいな結露もあります。佐藤先生が掲載されている写真には水滴がステキについています。

等等水蒸気にまつわる不思議な現象はまだまだ、勉強不足の筆者はこの程度ですがとても面白い水蒸気の挙動です。

最後まで読んでいただき

感謝・感謝

22℃58%の快適環境で原稿を書き終えました。水蒸気は軽いので地下室は除湿機を運転すると低湿を保てます。

快適環境を一人でも多くの人に味わっていただきたい、そして、腐れる家が供給されていることにイキドオリを感じ、何とかしなければと考えている長土居でした。

先日、新幹線のなかの雑誌トランペールで東山魁夷の日本画を幾つか取り上げた特集を読んだ。

その中に道と言う題の画があり、その絵画は東山画伯の単純化された作風のスタートとなったとされる残照に続く絵との事であった。

縦長の枠の中央に道が遠近法で描かれ、その両側はやや緑色を帯びた青といおうか、青色を加味された緑とい

たほうがいいのか草原と思われる景色が続く。遠方は丸みを帯びてえがかれ、上四分の一にある空は、快晴でもない、曇り空でもないグレーの模糊とした模様のある空色。真ん中の道はやや紫がかった淡い茶色で、わだちとはっきりとはしないでこぼこがみえる。その道はずっと向こうで右に折れ、やや下り坂ぎみに、同じ様な景色のなかへ吸い込まれるように消えていっている。

この道は、かつて画伯が八戸の種差海岸を訪れた時に取材し、一度灯台なども書き込まれたものをより単純化して描き

なおしたものだ。空の色にあのどこかひんやりとするヤマセを感じてしまった。そう思うと、この道は明るい未来を思わせるより、将来への一抹の不安を示すように思ってしまう。あるいは、今までたどってきた過去なのか、もし、過去ならば、大きい木も、岩も家もそして灯台も描きこまれるように思う。何にもない単純化されたこの絵からは、やはり未来を思った方が良いでしょう。

昨年、夫とある写真展を見に東京に行ってきた。その展覧会のポイントは二人の子供、おそらく兄妹が、鬱蒼とした森の道を、向こうにある明るい所へしっかりと手をつなぎながら歩いて行く写真だった。私はそれを観て、幼い子の方に心を同化させ、胸の中に不安をいだきつつ、ときどきしながらお兄ちゃんの手をにぎりその手に汗を感じながらこわごわ歩いていると言う感

思った。

一つの絵、写真をみてもプラス思考で感想をいただけるのは多分に性格によるのだろうか・・・。

私は動物より植物の方が好き。道端の草も、小さな犬のふぐりもオオバコのみだたない花もあの強いすじのある葉も好き。若やいだ木々の先々が赤くほんのりと色付き、遠くからみると山

全体が緑色に変わっていく過程の、あのパステルカラーの色合いも幸せを感じさせる。又、真冬に、冬芽が硬く結びつつ、来たるべき春に向かって耐えているのを見るとき、冬来たりなば春遠からじ、春、明るい未来を思う。草や木々が、毎年、萌え出で、枯れ、また新しい葉をつけ、結実する姿からは、さあお前も頑張りなさい、といってくれる何か大きな力を感じる。

私達も、もう今年で50才。むこう、未来は二人の子供達も充実した毎日をくらし、私達にも静かで充実した日々があ

るように、光明にむかって、ヤマセではなくうらかな風とあたたかな日差しを受けて、精一杯ではなく普通の努力とおだやかな楽しみと、そしてちょっとした緊張感とをもって道を歩んで行きたいと思う。

佐藤雅子

絵は「東山魁夷 第一巻 風景遍歴一 講談社」p.131の「道」のスケッチ



道



じを持った。ところが、夫は「そんな事ないよ、あの、向こうの明るさは楽しい事をあらわしているじゃないか。二人でなにか楽しみに胸膨らませて未来にむかっているんだよ、あれは！」と言下にいった。写真展の出口に、その写真を使ったポスターが貼ってあった。主人の言ったことを聞いてからもう一度見てみると、確かに今度は森のむこうの明るさに光明を感じ、未来には不安も伴うがむしろ期待と光明と言うプラスのイメージがあるのだ、と

ピンクのつぼ形のぷっくりとした可愛らしい花が、同じピンク色の3~5本の竿の様な茎にぶら下がっています。隣には手を広げた様なモウセンゴケの指にあたる部分に、丸い水玉が幾つも付いています。それに朝露もつき、背景は薄い緑色で、幻想的な世界が広がっています。これは先日、八幡平で花の大きさが5~6mmのヒメシャクナゲと言う小さな高山植物を、マク

山の花

佐藤護人

ロレンズを通して見た状況です。肉眼では気がつかない、自然の造形の美しさをかいま見る事が出来ました。

この二つの植物の共通点は、高山の湿地に見られることです。モウセンゴケは指を上げた突起物から粘液を出して、虫などを捕らえる食虫植物で、見方によっては野獣の様にも見えます。しかし、花は背が高い茎に白い花をつけて、まるで貴婦人を思わせます。花のない時点で、この二つが並ぶと美女と野獣と言う感じもします。



ヒメシャクナゲとモウセンゴケ

私の Mac Life



杉村峰秀

Vol.1

はじめに～

Macが気に入り出したのは、一体、いつのことだったのか…。パソコンというモノに特別興味があった訳ではないし、何か必要に迫られてということでもなく、まして超めんどくさがり屋でキカイおんちの私が、自分からそれを使って何かやるなんて事は考えもしていませんでした。パソコンを使っている友人は、皆、NEC派で、MS-DOSに接する機会はありませんでしたが、真っ黒い画面の中のなんだか訳のわからない数字や横文字を見るたびに、パソコンは自分にとって、まったく別の世界といつも思っていました。Windowsに変わってもこの感覚に変わりはなく、なぜか今だにMac以外のパソコンには馴染めないでいます。ところが、そんな私にいつの頃からかMacがほほえみはじめていたのです。

へんな箱～

その昔バンドをやっていたせいもあり、今までいろんなコンサートを見してきましたが、4～5年程前からそのライブや雑誌で見るスタジオの片隅に、何となく愛嬌のあるへんな箱が目につくようになってきました。へんな箱とは当然Macのことで、あのちいさな箱がレコーディング等（打ち込み全盛

時代の話）には欠かせない物だったとは驚きでした。当時は、ほとんどがSE/30にPerformer（シーケンサーソフト）の組み合わせで、プロの人達は、一体あれで何をしているのか興味がわいてからというもの、今まで見向きもしなかったパソコンの本を色々見るようになり、パソコンでキーボードの音色管理やMIDI（さまざまな音楽機器を接続して、演奏情報その他を伝達するためのインターフェイス、

ハードウェア、データフォーマットの規格）を使って色々な音源をコントロール出来ることを知りました。つまり、やろうと思えば一人でバンド（…と言えるかは、別として）が出来てしまうわけです。そういえば昔、ハードジョーンズなんていう人が、MIDIを駆使して一人でライブをやっていたっけ…。また、知るほどに音楽だけではなく、グラフィック、経理、…etc。“へー、こんなことも出来るの”と、いつしかへんな箱が魔法の玉手箱に思えてきたのでした。

高価なおブジェ～

現在の豊富なラインナップには到底およびませんが、当時（3年前）でも、ある程度の選択肢はあり、購入を決めてからは誰しも通る道で、予算の兼ね合いなどもあり結構悩んでいました。そんなところへ、取引先の人から展示用のSEを安く譲ってもいいよとの話があり、前にも書いたとおりSE/30に対する強い憧れと、“いくつかのソフトはすでにインストールされています。”の、くらくらとするような、



今でいうPerforma的あまい言葉に負け、ほとんど即答でOKしたのでした。中古といっても展示用なのでほとんど使われておらず、感激のうちにスイッチON! ポーン、という心地よい音と共に、私のすばらしいマックライフが始まる...はずでした。ところが、いざ実際にパソコンを前にすると、あれも出来る、これも出来るという思いばかりで、これがしたいというはっきりとした目的が自分になく気がつきました。当り前のことですが、こちらが何にもしなければMacといえども唯の箱に過ぎない事、その時改めて実感してしまいました。そうこうしている内に、バンド活動の方もなんとなく沈黙化してしまい、我がSE君は活躍の場を得られぬまま、それからしばらくの間“パソコンオブジェ”と化し、冬眠期間に入ったのです。

Mac駆けこみ寺

一年程経ち、いつまでもオブジェのままじゃ可愛そうと言うことで、前にも話を聞いていた岩手Mac友の会の門をたたくことにしたのです。初めのうちは、なんじゃ!ここは外国かと思うくらい、会員の皆さんの話が理解できず、随分場違いな所に来てしまったとチョット後悔もしましたが、私のようなまったくの初心者への質問にも、嫌な顔ひとつせず丁寧に答えてくれるIMFの雰囲気は大変感激しました。例会等の出席率は悪いのですが、機会ある度にいろんな人の話を聞くことができ毎回楽しみです。Mac以外の部分でも、いろいろ勉強させてもらっている気がします。まだ、なんにも恩返しできない自分ですが、野村会長をはじめ、会員の皆さんには本当に感謝しています。

私自身、IMF以外にMacの友達は何人かおられますが、Macユーザーがどんどん増えている現在、ひとり悩んでいる人は巷に結構いると思います。そんな人の為にも、“Macの駆けこみ寺”

的IMFの存在が、いろんな人にもっともっと知ってもらえたらいいのになぁと思っています。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

Vol.2

カラオケ

先程のIMF以外の友人の中に、私が“MIDIの師匠”と呼んでいる人がいます。音楽が好きで、とにかく若い頃からいろんな事をやってきたようで、ほとんどの楽器をこなしてしまいま



す。昔はオープンデッキを使い、ひとつひとつの楽器を多重録音していた様ですが、今ではそれがMacとマルチ音源に代わっています。彼の進めで、ようやく私も憧れのパソコンミュージックの世界へ足を踏み入れた訳ですが、キカイ物の進歩のはやさには本当に驚かされているところです。今メインで使っている音源は、KORGの05R/W (STEP価格¥52,500) というものですが、とにかく音がいいのにはビックリしてしまいました。バンドをやっていた頃に、同じような音を出そうとしたら、一体どれくらいの器材が必要だったのだろう...と考えただけ

で、技術の進歩にはホント、感謝、感謝です。音の良さに加え、エフェクターの質もいい、それがマルチに使える、ハーフラックに収まってしまふのですから大したもの。例の、お師匠さんの夢は、“ハードディスクレコーディング”と言っていました。この分だと彼の夢もそう遠くない内に実現しそうな気がします。私も最初のうちは、よーし曲を作るぞー!などと意気込んでいましたが、お師匠さんの分けてくれるMIDI DATAの甘い誘惑に、もはやその気も失せてしまい、もっぱらわが家の520はEZ Vision J (MIDIレコーディングソフト)とのコンビでカラオケ再生専用機となっています。しかし、カラオケといっても馬鹿にはできず、プロが数百万~数千万かけて作ったCDと聞き比べても、そんなに大差なく聞こえるのは私だけではないと思います。興味ある方、まずはお試しあれ...。それから、EZ Visionに付いてくるBAND IN A BOX (自動伴奏用)というソフトも結構使えることを一言付け加えておきます。また、このソフトの裏テクを知りたい方は、コーヒー一杯分の代金を払い直接お師匠さんにお聞き下さい。ちなみにお師匠様は、盛岡仙北の“ちゃお”という喫茶店のカウンターの中で毎日Macをいじくっていらっっしゃいます。

夢

今は、Macを殆どパーソナルな趣味にのみ使用していますが、ゆくゆくは経理等、仕事の方でも使っていきたくと思っています。そして、いつかはMacにも口を開き、道を譲ってやりたい!などと馬鹿な事を考えたりもしています。私のMac Lifeの支えとしても、IMFの活動が未永く続きます様、折りつつ...

会員の皆様、今後共ご指導宜しくお願い致します。



ブラジル紀行記(1) by 阿部好晴

日本の日付でH3年8月3日から15日の間、ブラジルに行く機会がありました。何か皆さんの参考になればと思います、この原稿を書かせていただきました。

いざブラジルへ

8月3日成田発夜10時の日航ロスアンゼルス経由サンパウロ行のジャンボ機で、いざブラジルへ。座席は真ん中の列の5列ある中の右から二番目。右隣りが同行した元女子プロゴルファーの女性。岡本綾子なんかと一緒にやったとのこと。そんな話を聞きながら楽しく過ごしているうちに隣の日本人と言葉を交すようになった。s24年生まれの子で可愛い8歳の女の子と一緒にいた。20歳位でブラジルに渡り、今はサンパウロで、設計関係の仕事をしながら暮らしてるとのこと。1年に1回の1ヶ月の長期休暇を利用して里帰りしてきたようだった。

初のアメリカ上陸

途中ロスアンゼルスで給油のため1時間アポジット。9時間飛んだが時差の関係でまだ夜。初のアメリカ上陸、とは言っても空港の待合室の中だけ。飲み物コーナーは、無料は良かったが、愛想のない太ったおばちゃんがむすとして、お客の注文の飲み物を出していた。ああ、これがアメリカだなと思った。また飛行機に乗り込んで、南南西の方向に赤道を超え、アマゾンを超えてサンパウロへ。途中飛行機の中から見た日の出はきれいだった。

サンパウロ到着

現地時間朝9時頃、所要時間約23時間でサンパウロ国際空港へ到着。税関もすんなり通り出口へ。出迎いの熱気がすごい。白人系の顔が多く、歓声を上げたり、あちこちで抱き合ったり、あちらの人は情熱的。ああ外国に来たんだなあとしみじみと実感した。ブラジルは治安が悪いと

聞いていたので緊張気味。現地のお仲間が10数人お迎えに来てくれて、初対面の挨拶もそこそこに滞在中お世話になる林さんの車に荷物を積み込み、発車。空は青く、初夏のようなさわやかな天気、ところどころ赤土が目立つ。最初、歓迎会の会場の吉田さん宅へ。30分位走って停まったのが高級住宅街の守衛所。自動小銃を持った守衛がいて、チェックを受けて中にはいる。プール付の家があちこちにある。サンパウロでも有数の高級住宅街とのこと。中に案内されて、プールの回りでまずビールをいただく。これが何とも言えなくうまい。澄んだカラッとした空気、青い空、高台にあり、回りには庭付、プール付の大邸宅が広がる。その光景を、プールのそばでビールを飲みながら眺めると、今自分は地中海にでもいるのではないかというような錯覚を持った。何とも言えない、いい気持ち。豊かな気分。そのうちにシュラスコ(肉の塊を炭火で焼いて岩塩、こしょうを振っただけのバーベキュー)の用意も出来、テーブルには手作りののり巻やら、いなり寿司なども並び、歓迎会が始まった。時差はけのせいか、アルコールのせいか、急に眠くなってきた。ソファで少し横にな

る。外は半袖でちょうどいいが、中は寒くセーターを着ないと寒いくらい。

一眠りして、それぞれの宿泊先へ。私ともう一人は、スザーノの郊外の福博村の林幸美さん宅に泊めていただく。林さんのお宅は養鶏を営む大規模な農園。ここに13日の夕方まで、家族の一員のようにお世話になる。

国土、気候

ブラジルは、国土の面積はカナダ、アメリカに次ぐ西半球3番目の「大国」で851万平方km、中南米の41%を占め、日本の23倍を誇る。赤道をはさんで北緯5度から南緯33度まで広がっており国土の大半は熱帯・亜熱帯に属している。

時差はサンパウロ、イオデジャネイロ、ブラジリアなど主要都市は12時間差の同じ時間帯にある。

私はサンパウロ市の郊外のスザーノの田舎に滞在したが、サンパウロの緯度は南回帰線(23.5度)の付近で、高度が1,000mの高原に位置する。

ブラジルの8月は日本の2月にあたるが、沖縄桜が咲いてさわやかな過ごしやすい天気でした。ヤシの実やコーヒーの豆がなっていたりして、一



プール付の豪邸、吉田さん宅

番寒くてこれならセーターと毛布一枚あれば生きていける、実に暮らしやすいなと思った。昼は25℃位で、半袖でも少し暑いくらい、でも、建物の中とか、朝夕はセーターを着ないと寒い。寝るときは毛布一枚でちょうどいい。高原に位置するから、昼、夜の寒暖の差があるのでしよう。

他の季節は体験してないが、春、夏はいろいろな花が咲き乱れてきれいだとのこと。サンパウロの日系人が言うには、東京の夏は蒸し暑くていられない、サンパウロは気温はもう少し高いが、カラッとしているのでずっと過ごしやすいとのこと。

友人の岩大留学生はブラジルの四季は年中同じような感じで、あまり変化しないが、盛岡は四季がはっきりして好きだ。特に冬、雪が降ったあとはとてもきれいだと言っていた。

経済

ブラジルの経済規模はスペインに続いて世界第9位（旧ソ連などの計画経済の国を除く）思ったより大きいので驚いた。

1960年代から73年後半までは、年率10%以上という経済成長を続け、ブラジルの奇蹟といわれたが、73年の第一次石油危機以後、国際収支の悪化と、インフレの再燃を引き起こし、経済成長は下降線をたどったが、84年後半から少しづつ持ち直してきている。ブラジリアの建設のためなどに外国から多額の借金抱えたあたりから経済が悪化し始めたとのこと。

現在ブラジルが抱える対外債務は1,200億ドル（約12兆円）、発展途上国最大で、毎年100億ドル（約1兆円）を超える貿易黒字を上げるようになって、金利の支払さえまならない状態であるとのこと。

産業

ブラジルといえばコーヒーと反射的に思い起こされるが、大豆、オレ

ンジジュース、鶏肉、砂糖、パルプなどでも世界の主要な供給国となっている。

ブラジルは地下資源の宝庫で、鉄、マンガン、ボーキサイト、ウラニウムと多種多様な鉱石がとれる。

また、地球の地殻に存在する約2,000種類の鉱物のうち、約1,000種が宝石となるようだ。ブラジルではそのほとんどが産出されて、今や世界の宝石の7割弱がブラジル産だそうです。

工業面では、韓国、台湾、メキシコなど「NIEs」（ニーズ）と呼ばれる新興工業国の一角をなしている。ブラジルが力を入れている輸出品は、もともとコーヒー、鉄鉱石、砂糖といった第一次産品だったが、最近では、自動車、機械類、コンピュータ、航空機などの工業製品がパーセンテージとして増加しているのが特徴だ。工業力は中南米最大である。

インフレ

すさまじいインフレで、1989年には1,863%、1990年でも1,586%、改善がみられたといわれる91年でも476%と猛威を奮ってる。

現地の人にインフレは大変でしょうと聞いたら、台風の目の中にいる

のと同じだという返事が返ってきた。物価が上がってもその分収入も上がるからそんなでもないとのこと。インフレにマヒしてるような感じを受けた。

物価

物価は日本の約1/10ぐらいのようだ。

牛肉1キロで300円～500円ぐらい、マグロも1キロ同じぐらい。

最低賃金は日本円で8,500円ぐらいでした。この収入だと肉とか魚はあまり食べないがなんとか生きてはいける。貧しい人達は〇〇芋を主食にしている。

行きの飛行機の中であった60代の日本人は40才位まで日本で働き、その後ブラジルに渡り60才から日本から年金を送金してもらい、今はあちこち旅行したりして左うちわで暮らしてる。

100万円で2haの農地が買え、300万円でプール付の豪邸が買える。老後、ブラジルで暮らすのもいいなと思った。気候はいいし、物価は安いし、日本食は心配ないし、ただ、問題は治安だけだ。現地に住んでる日本人もそのことを言っていた。

（次号に続く）

文、編集 阿部好晴



アボガドの木（日本で見るもの3～4倍ぐらいの大きさずっと大きい）

悲しいマック

神 達宏

平成3年7月頃我家にマックがやってきた。以来2年7ヶ月、マックビギナーが体験する喜怒哀楽を報告します。恐れ多くも、自家出版を目指してQuarkXPressに挑戦したのでした。

EGWordからQuarkへ

この過程でマックは不思議な不思議な魔法の箱でした。あるときは便利な道具、あるときはビックリ爆弾マーク、両手の親指、人差し指入力から、摩訶不思議な画面が出現する。静止画面、ポインターのストライキ、カタカナ文字へ変換不能、ユーザー辞書登録不能、メモリー不足による画面停止、遂に、DeskWriterは単独ページ印刷拒否、Iciに問題がありと予想する。十数日してからキャノンの社員が来るが解決できず、一方HP社はマシンに問題なしと言う。ソフトのバグ?さりとて、Quark側では、プリンタが悪いと言う。

げに悲しきは無抵抗なマックユーザーなり。

そんなこんなで悲しいマックユーザー=木津屋本店の杉村課長、という図式が成立していました。

トラブル解決には杉村さんの大奮闘、花巻の徳富さん、テレビ岩手の照井さん、ファブリックの佐々木明宏さんなど、岩手Mac友の会重鎮の方々のご指導を受けて、めでたく完成しました。

楽しいマックとは、障害を克服する過程でいろいろな方と出会い、お知恵拝借、そして根性、根性で

知識技量が向上していくようです。

最近、楽しいマックライフには、いくつか種類があるように思えてきました。第一は、無心に5本の指先でタイプしている自分。

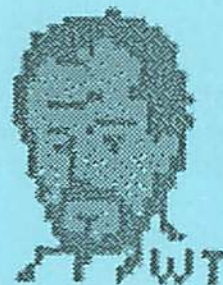
第二はデータ完成、プリンタセット完了、そして印刷待ちのコーヒータイムが楽しいのだが、ただし印刷結果は印刷用紙設定保持機構の関係で印字がやらずれてしまう事が多いので、これについてはまた、別の問題としておこう。

楽しいマック体験集

楽しいマック第三は、営業にマックを参加させようと考えている時間。つまりなにか目新しいものに挑戦しようと考えている夢見る時間が楽しいのである。2年前から営業用としてExcelを日計票に使ってみたが、税理士へ提出する一部分の財務資料にしかならず、結局青色申告は税理士に任せることになっています。

税理士の報酬分を浮かせようと「Mac会計4.0 Excel版」を買ってみたものの、ヒヤ、複式簿記は複雑怪奇、まるで呼びじゃありません。今年も税理士にお願いしてしまっ

しかし、ですよ!いました!いました!我が歯科医の業界に。Excelでプログラムを作り、毎年彼は税務署に申告しているのです。



▲ 彼

PowerMacが欲しい小生はおいしい話とすぐさま彼のプログラムを拝借させて頂いた。結果はいかに。そのソフトには関数、ループ、マクロだらけです。つまり小生にはチンプンカンプン。画面上の最上段の列は年月日が固定されていて、左側の行はスクロールが出来る。その上、画面の2段目の列は、左右、上下にスクロールができるようになっている。

つまり、一画面上に2個の画面が分割されて、同時に2分割画面が、左右、上下にスクロールしながら入力できるのです。これこそ、小生には究極のマルチタスクと思われる。

林檎 Vol.5, No.4 1993. 11.20の編集後記の記事から引用させて頂くと、「PhotoShopも、Illustratorも、ひたすら、根性、根性、のみの世界でした。才能や、センスなど、ミジンコも必要ありません。 齊藤.....」

小生この記事を読んでいたころは、Illustratorに手を出していましたの

で、ひたすら、根性、根性と思いつつも、チャレンジしては挫折して、敗北感 悲しいマックユーザーでした。

でもでも、Illustratorは趣味だから、いや！とあきらめていました。しかし、歯科医の作った会計財務ソフトは、その出来栄えのすばらしさにただただ唖然としています。聞けば、彼は経理学校に通い、会計業務の実務を研鑽した結果の産物と知りました。

齊藤氏の言葉—— ひたすら、根性、根性、根性、根性、根性のみの世界であろうと推察いたします。

アタシャー！ひたすら、根性ないもんネ。またしても、敗北感、悲しいマックユーザーになりました。

今年中に彼のソフトを当医院用に改良して、税理士報酬分を節約したいと超願望していますが、**自信ないナー...**

ソフト、第四の楽しいマックを忘れるところでした。**年一度の岩手Mac友の会の合宿**です。

準備にも参加せず後かたづけにも協力しない会員ですが、ヨチヨチビギナーにはぜひぜひ参加して欲しい会です。小生などは入会以来3年間連続して参加しています。

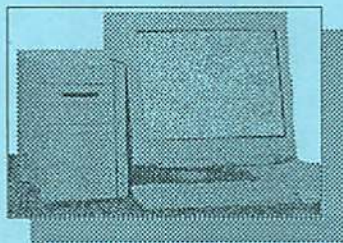
ビギナーと言ってもひろーい、ひろくゴザンシテ。マックについての皆さん、もちろん小生も含めてビギナーの疑問は山ほどアリヤンスノヨ。自慢じゃないが、小生などはこの機会に、徹底的にできないこと、便利なことを教えてもらいました。岩手を代表する、ウルトラ超ハイマックメンがこの場にいるんですよ。

参加費用には宿泊代だけで、講習会費はこれに含まれていませんよ。泊まって、食べて、飲んで、風呂に入って、最新兵器に触れて、遊んで、その上に、プロフェッショナルマックメンズの個人レッスン付きの会なんて、岩手Mac友の会、この会を除いて考えられません。

こんな勝手なことばかり言う初心者野郎はオマエだけだ、と幹事の方に怒られそうですが、マア、チョット我慢

して付き合ってください。土曜日の例会はどうしても参加出来ない者には、一晩中好きなマックと付合える年に一度の時間なのです。

忘れられない真夜中のコーヒー、真夜中のリンゴ、おむすび、真夜中のチョコピリHなCD-ROMは最新のマックと同様に、中年男性には悪魔の魅惑、禁断のアップルに感じられます。そしてあの夜から、ハマッテしまいました。あの夜の**悪魔の誘惑**は、形を変えてこのマシンQuadra 840AVを呼び寄せたようである。



それに付けても、最近のアップル社の営業戦略は、ユーザー泣かせですね。ハードが安くなるのは、大歓迎ですが、周辺機器や部品がちっとも値下がりしないのですよ。基本仕様のハードのみでマックと戯れているうちはそれでもよいのですが、すぐに、あれもしたい、これもやってみたいとなるケースが多いことは、だれの目にも明らかなので、システム全体の周辺関連機材のことも考慮すべきでしょう。

小生の周りの5人の歯医者が、98を捨ててマックに走っています。こども、彼らは、なにを血迷ったか小生に質問の雨を注いできます。質問の大部分は、システム構築上の費用とパソコンを使用する目的に関することです。

アップルさん、お願いですから、パソコン利用目的別のシステム構築のひな形を、わかりやすく、価格表に提示してください。たとえば、白黒用簡易DTPには、ハードなになに、内部記憶装置xxxMB以上、外部記憶装置xxxMB以上、使用ソフト名、印刷装置、関連機材名、などと合計費用を併記するとよいのでは？

次によく質問されることは、マックでなにができるの？

わたしゃこれがこまる

だって、自分自身だってまだまだ未熟者、自分の作業だって毎日ヨチヨチしています。アップル社さん、量販会社対策より、既存の販売会社へもっとサービスよくしなよ。キャノンさんもっともっと社員の資質を高めなさい。セールスマンはSEに近い商品説明能力が絶対必要なのに、特に周辺機器と有名なソフトについて勉強しなさいよ。

ついでにソフト会社に一言、いや、いっぱい言いたい。

丁寧にソフトを作れ!

バグつぶしにユーザーを利用するな!!

バグを発見したユーザーには違約金を払え!!!

バグと戯れたユーザーの時間を返せ!!!!

こんなに、文句不満タラタラ、ブーたれている小生がなぜマックを捨てないのだろう。多分、楽しいマックイコール悲しいマックを体験しているのでしょう。

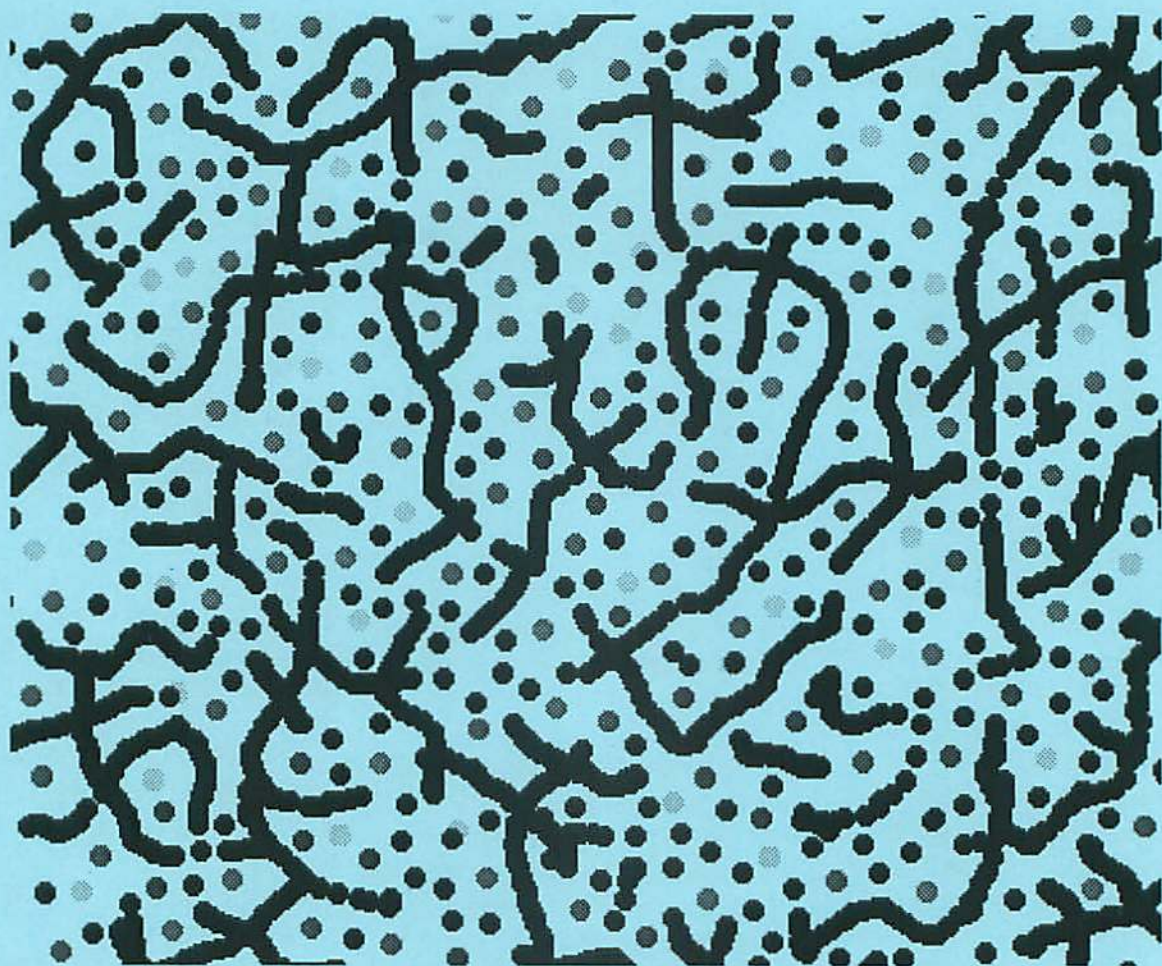
この禁断のアップルの支払日には、山ノ神は悲しいマック、オイラは楽しいマックユーザー。

おそまつでした。 神 達宏

Written & Edited by Kami,
Layout supporter; Kudof.



林檎ギャラリー



1994+8-せがわ・まさお

by 瀬川昌男

編集後記



いや〜熱いっ！この分だと林檎も甘味が増すでしょう。

先日購入したInfoMac-III を探検する時間が欲しい野村です。



編集はホント久しぶりです。ワンパターンだけれど何とか終了。

4月、自宅にStyleWriterIIを買いました。プリンタがあると校正が楽ですね。PB520も速くて使いやすいです。さらに、受信用にFaxも買いました。やっと、ある程度自分が満足いく環境になったと喜んでます。 藤村



今回はページメーカー上だけで出来るオーソドックな手法で編集しました。

と言えば、格好がいいのですが「暑くて暑くて根気が続かない」というのが本音。

ふ〜暑い。 照井



いつも担当の杉村さんと私が今回、印刷を受け持ちました。このコンビは以外とゴールデンコンビかもしれませんよ？

今後も請け負います。杉村さんが迷惑でなければ・・・？ MEGUMI admin 土村



今回の担当ページはすべてクラリスワークス2.0で作成しました。このページもです。

おかげでひな型作りにだいぶ時間をとられました。でも、クラリスワークスも捨てたもんぢゃないっしょ？ 工藤



Mac関係以外の話題やエッセイを入れるようにいたしました。如何だったでしょうか？それから、私自身が編集を引き受けすぎた感じがしました。なるべくみんなで、分担した方が結果も良かったと反省しております。お盆を控えて早めの締め切りと最終編集会議で、間に合わなかった方もありましたが、どうにか編集が終了出来ました。 佐藤

会員名簿

浅田 昌彦	IMF035	北上市	千葉 順子	盛岡市
浅野 恵治		宮城県	土村 中	admin 盛岡市
		仙台市	寺田 明功	IMF068 青森県
阿部 好晴	IMF203	盛岡市		弘前市
飯岡 史朗	IMF224	盛岡市	照井 芳夫	IMF026 花巻市
池内 達		盛岡市	遠山 明人	IMF200 盛岡市
池田 学	IMF114	千葉県	徳富 亘	IMF015 花巻市
		浦安市	苫米地 怜	青森県
石田 宏		盛岡市		八戸市
一井 誠	IMF122	盛岡市	豊間根 道子	盛岡市
伊藤 光司	IMF077	花巻市	永澤 幸雄	IMF118 盛岡市
祝田 明子		盛岡市	長土居 正弘	IMF087 盛岡市
宇佐美 公生		盛岡市	西島 光茂	IMF017 盛岡市
大河原 清	IMF021	盛岡市	根本 聡彦	IMF042 北海道
大木 哲	IMF206	盛岡市		札幌市
沖野 覚	IMF044	二戸市	野村 行憲	IMF000 盛岡市
小原 康正	IMF222	宮守村	福田 健次	IMF005 盛岡市
鎌田 五百枝	IMF213	盛岡市	藤澤 義栄	IMF209 花巻市
神 達安		盛岡市	藤村 洋	IMF028 盛岡市
菅野 研一	IMF211	宮古市	本多 健一郎	IMF025 盛岡市
菅野 卓矢	IMF006	盛岡市	三浦 吉範	盛岡市
木村 栄子	IMF120	盛岡市	村上 宏文	IMF099 岩泉町
工藤 聡	IMF094	盛岡市	村上 弘行	IMF049 盛岡市
熊谷 明也	IMF008	盛岡市	室橋 正	IMF208 新潟県
小林 隆	IMF212	盛岡市		村上市
小松 寿夫	IMF102	宮城県	本館 康司	IMF013 花巻市
		仙台市	藪 敏裕	IMF214 盛岡市
近藤 英一		紫波町	山本 淳	IMF034 盛岡市
斎藤 秀一	IMF109	盛岡市	吉田 新二	IMF020 盛岡市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	渡辺 浩志	IMF069 秋田県
佐々木 幸司	IMF033	盛岡市		能代市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町		
佐々木 文雄		紫波町		
佐々木 光夫	IMF121	大槌町		
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市		
佐藤 顕	IMF093	宮城県		
		仙台市		
佐藤 雅子		盛岡市		
佐藤 学	IMF119	宮守村		
佐藤 護人	IMF010	盛岡市		
渋谷 芳三		盛岡市		
白石 隆	IMF039	盛岡市		
白沢 道生	IMF207	盛岡市		
菅原 忠雄	IMF124	花巻市		
杉村 栄一	IMF036	盛岡市		
杉村 峰秀	IMF113	花巻市		
鈴木 裕之		盛岡市		
瀬川 昌男		盛岡市		
平 靖夫		盛岡市		
高島 浩一郎	IMF012	盛岡市		
高橋 晃	IMF031	盛岡市		
高橋 浩幸	IMF091	盛岡市		
谷口 和美	IMF221	盛岡市		
千葉 智彰		玉山村		
千葉 浩保	IMF126	盛岡市		

例会案内

9月 17日(土)
11月 19日(土)
(10月はお休み)

14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所:
岩手大学
教育工学センター

MMMのお知らせ

例年楽しみにしておりますMeet the Mac in Michinoku(MMM)を10月22日に開催する予定です。会場はまだ未定ですが、この日程はほぼ決定しております。是非ご参加下さい。

原稿募集

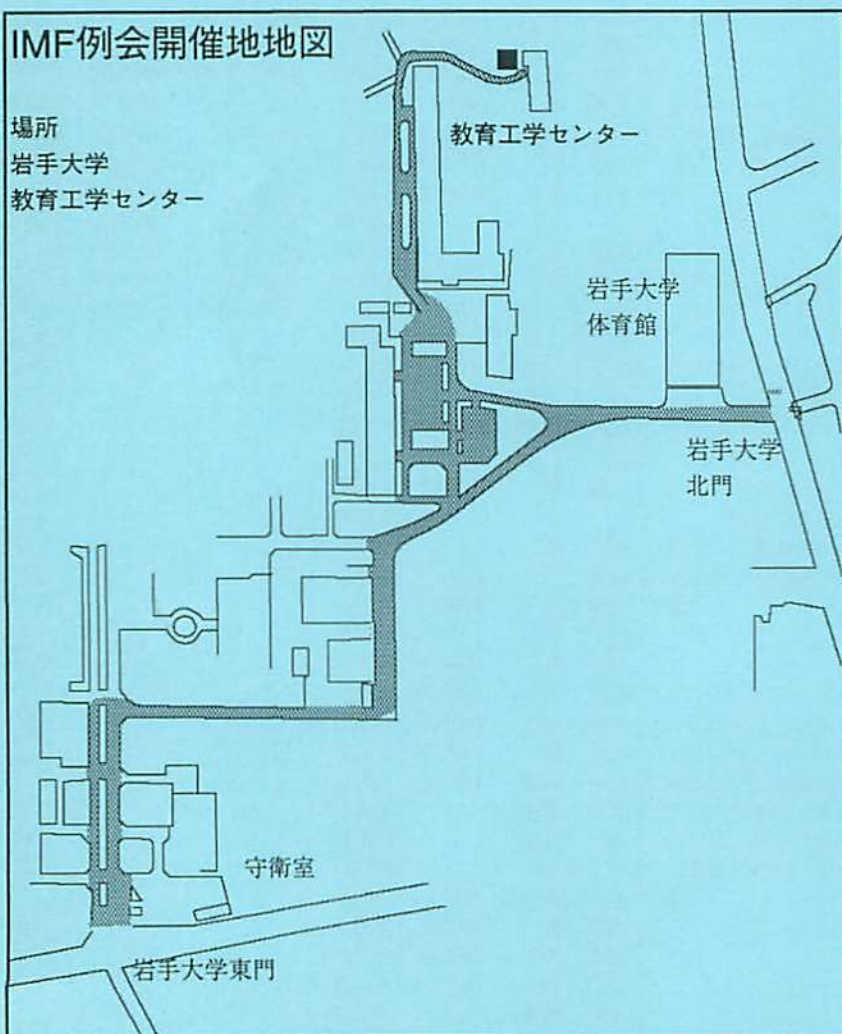
会員のそれぞれ得意の分野での知識や知恵の情報交換をしたいと思います。

また趣味の事や、エッセイも載せていきたいので原稿をお寄せ下さい。お待ちしております。



IMF例会開催地地図

場所
岩手大学
教育工学センター



「林檎」30号は...

First Class	ATOK8
Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter

等で作ったものをPageMakerでまとめLaserWriter, Microline、LaserWriterSelect610でプリントしました。

「林檎」第30号 1994/5/21
編集長 佐藤 護人
発行 岩手Mac友の会
代表者 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品